

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市水島障がい者支援センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180番地 名称 社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 山崎 要
(3) 公の施設の所管部署	社会福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は、「コロナ禍での施設運営について」を重視して評価した。</p> <p>コロナ禍の状況に応じた支援として、積極的な電話による在宅支援を実施した。その他、利用者のために新型コロナウイルス感染症対策を施した上で可能な限りイベントを継続し、また新規イベントを企画・実施も行った。</p> <p>利用者へのマスク着用の徹底の呼びかけ・検温実施や、定期的な館内の換気・消毒など、感染症対策を十分に施した上で施設運営を行ったことは評価できる。</p>	総合評価
		A
(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比較して施設利用者は新型コロナウイルス感染症の影響から減少し、それに応じて来所面談・訪問による相談対応も減少した。ケース調整会議による対応は横ばいであったが、コロナ禍での在宅支援として積極的に実施した電話による相談件数は増加した。また、障がい者（児）及びその家族等が抱える不安軽減や情緒安定を図るため、福祉サービス調整、個々のニーズに合わせた関係機関と連携を図った。 ・地域交流を目的とする「はばたきふれあい祭り」開催を実行委員会に諮ったが、新型コロナウイルス感染症拡大が懸念され中止とした。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からマスク着用・手指消毒等を徹底し、代替行事として人数制限をしたガラポン大会や屋外での臨鉄50周年記念のマンホールを見に行くお散歩会を実施した。 ・利用者が主体的に参加できるように、企画運営について話し合う定例会を利用者と開催し、初めての方でも気軽に参加でき 	

	るような雰囲気づくりに努めた。
(3) アンケート結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営に係る事業内容や職員の対応について、92%以上の利用者から、満足又はほぼ満足の回答が得られた。 ・アンケート結果については別紙のとおり。

3 施設の利用状況

(1) 利用実績		今年度	前年度	特記事項（前年比）	
	施設利用者	12,646人	16,859人	75%	
	相談支援	面接相談	3,812件	6,135件	62%
		電話相談	2,720件	2,573件	106%
		家庭訪問	434件	509件	85%
ケース調整会議	109件	115件	95%		
(2) 事業の内容	(1) 日常生活支援 (2) 在宅福祉サービスの利用援助 (3) 相談・情報提供 (4) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業 (5) 地域交流・啓発活動 (6) 障がい者及びその家族等の地域生活の支援				

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	37,398千円		
	市からの指定管理料（委託料）	35,832千円		
	利用料金	1,554千円		
	その他の収入	12千円		
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	38,269千円		
	主な支出	人件費	27,600千円	
		光熱水費	1,916千円	
		修繕料	69千円	
		消耗品費	937千円	
		施設管理委託費	740千円	
		その他経費	7,007千円	